

痛みへの対応について

がんの痛みを和らげることは、患者さんご家族にとって、治療の負担を減らし、生活を守るうえで重要な取り組みです。当院では、痛みに対してオピオイド等の鎮痛薬を処方するだけでなく、病態や今後の見通しを検討し、緩和的放射線治療や神経ブロック等の専門的な治療も積極的に活用することのできる体制を整えています。

痛みについてのご相談は、緩和ケアセンターにてお受けしておりますので、お気軽にお問合せください。

痛みなどへの対応は《連携》がポイント

痛みを軽減するには、麻薬の処方だけでなく、緩和的放射線治療や神経ブロック等の専門的な治療を行っています。

- 痛みを軽減し、患者さんの療養生活の質を維持・向上させるために、神経ブロック等を活用する

- ▶ 積極的に活用するために麻酔科医・ペインクリニック医との連携
- ▶ 自施設だけでなく地域・近隣の専門家とも連携

- 痛みの緩和やがんに関連した症状を軽減し、患者さんの療養生活の質を維持・向上させるために緩和的放射線治療を活用する

- ▶ がんの治療中に積極的に活用するために医療機関内外での連携を行う
- ▶ 骨転移や麻痺の診断・治療に関する情報共有を行う

放射線治療や神経ブロック等は、薬物治療のSTEPに関わらず考慮することとされている。

評価

- ・ 以前からの痛みかを確認する
- ・ 持続痛か突出痛かを区別する
- ・ 神経障害性疼痛かを評価する

治療

- 痛みの種類に関わらず考えること
- ・ 放射線治療 ・ 骨転移に対するビスホスホネート製剤 ・ 神経ブロック ・ 装具
- 疼痛の種類に応じた、STEPごとの薬物治療
- STEPに関わらず考えること
- ・ 放射線治療 ・ 神経ブロック

効果判断

痛みの治療ごとに、効果判断を行う